

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6 年 3 月 27 日

事業所名 わくわくスクールふじみ野校

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	コロナ等の感染症対策として、来所時に検温を行っているか	○			来所時に検温・手洗いの声がけをして、実施している	現在実施はしているが、忘れそうになることもある。来所すぐに検温する習慣をつけていくようにする
	②	職員の配置数は適切である	○				
	③	トイレやお手洗いの場所において、アルコール消毒やペーパータオルにする等の配慮がなされているか	○				
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○				
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を共有しているか	○			様々な研修を周知して、研修を受けた後には、他の職員に内容を報告してもらう	興味のある研修を自主的に受けて頂くようお願いしている。また内容は皆で共有するようにしている
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、職員同士で話をして決めるようにしているか		○		子どもの様子や学習状況から、職員同士で相談し合うことが多い	職員の勤務時間が異なるため、皆で一緒に話し合うことは難しいが、ノートに記載して閲覧出来るようにしている
	⑪	子どもが楽しめるような活動プログラム（土曜日イベント）になっているか	○			毎月季節行事や各地域の慣習等を考慮して計画を立てている。	楽しめるプログラムはもとより将来に役立つスキルを身につけられるプログラムを増やしていきたい
	⑫	目的意識を持って、曜日ごとに内容が異なるグループ学習が行われるように努力しているか	○			5領域を考え、それぞれバランス良く学ぶことが出来るよう計画を立てている	これからも子どもの特性に焦点を当てたグループ学習になるように工夫をしていく
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日・長期休暇とも同じ体制で開所してきたが、今後利用者の要望も考慮し、改善策を取る必要があると考えている	休日や長期休暇は、平日では出来ないことを行える良い機会なので、随時対応していきたい

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	⑮	その日行われる子どもの人数や支援の内容さらには役割分担について確認しているか	○			毎日子供たちが来所する前に、支援の内容や役割について話し合いを行っている	役割分担をするが、皆でサポートするという気持ちを大事にして、チームで支援をし続けていく
	⑯	翌日等に行われた支援の内容や気になった点の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日子供たちが来所する前に、支援の内容や気になる部分等の話し合いを行っている	その日に振り返りを行えそうな時は行う。気になったことをそのままにせず、情報を共有し続けていく
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の様子や出来るようになったこと等気づいたことがあれば、記録に残すように努めている	些細な点でも見落とすことのないように、今後も気づいた点は記録に残すようにしていく
関係機関や保護者との連	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			決められた期間でのモニタリングにつけ加え、子どもの発達課題において、必要であれば、随時見直しのために面談を行っている	学年が進級すると、新たな課題に直面することがある。随時面談や電話での相談支援を行い、不安や悩みを保護者が抱え込まないようにしていく。
	⑲	宿題等の学習のみならず、社会性を高めるための活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に積極的に参加しているか	○				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			学校側からのアプローチに問題がある所もあるが、ほとんどよく行えている	教えて頂いた内容を時間割の最後にあるメモに書くようにすることで、連絡ミスをしないように注意する
	㉒	子どもを受け入れる際に、必要であれば子どもの主治医等と連絡を取り合えるようにしているか	○				
	㉓	就学児前に利用していた児童発達支援事業所や相談支援事業所との間で情報交換をしているか	○			子どもと保護者の中で気がかりな点等あった時は、相談支援事業所と密に連絡を取り合い、対応について協議している	相談支援事業所の方とはモニタリング時のヒアリング以外でも連絡を取り合うようにしている。今後も引き続き継続する
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等の配慮が出来るか	○				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関からの情報を職員に伝えて、興味のある研修があれば受けられるようにしているか	○				
	②⑥	児童館を利用する等、地域の資源も活用して支援を行っているか	○			土曜日はコンセプト上、地域の児童館を利用して、人間関係や社会性を高められるような支援を行っている	施設の中だけでなく、地域の方々との触れ合いを通して、子どもたちの対人関係スキル向上に活かしたい
	②⑦	学校のケース会議に対して、積極的に参加するようにしているか	○				
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回その日の様子、学習内容等、保護者に報告し、コミュニケーションを取るようにしている	支援の中で見えた成長を保護者の方にお伝えするようになっている。また不安なことがあれば、お話を聞いて方向性を探るようにしている
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の情報を伝達しているか		○		保護者会や茶話会等を計画している	まだ実際に決まっているわけではないが、今後保護者同士の連携の場として会の開催を検討している
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			定期的なモニタリング以外で、悩みや不安がある場合、相談支援を行っている。その際助言をするが、保護者が納得出来るか確認しながら、相談に乗るようにしている	些細な事でも、迷うことがあればお話を伺っていく。その際次に行動すべき方針を具体的に提示するようにしている
	③⑫	保護者同士の繋がりや、子どものお迎え時に他の保護者と情報を共有出来る環境になっているか		○			
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情があった場合には、対処した職員からまず話を聞き、スタッフの間で会議を行い、同時に相談支援事業所とも連携を取って対処している	現在苦情を受けることはないが、もしあった場合は事実確認を早急に行い、対応した結果をお伝えしていく
	③⑭	定期的にわくわく通信等を発行して、イベントの内容を伝えているか	○				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑳	個人情報に十分注意している	○				
	㉑	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	○				
	㉒	事業所の行事（クリスマスの際の手品等）に 地域住民を招待する等、地域の方々との交 流があるか	○			今年度も大井奇 術サークルの 方々を招いて、 クリスマスにマ ジックショーを開 催した	来年度もお越し頂けると 思いますので、楽しみに している
非常時 等の 対応	㉓	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	○				
	㉔	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている				決められた規程 以上に実施する ようにしている。 また目的意識を 持って取り組む ようにしている。 年2回グループ 学習として取り 組み、内容が同 じにならないよう 工夫している	以前は土曜日のイベント として行っていたが、非常 時に備えて、出来るだけ 多くの子どもに参加して 頂けるように、平日に変 えた。これからも色んな 想定をして、安全に過ご せるように取り組みをし 続けていく
	㉕	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている				職員会議で何度 も話し合いをして いる	最低年2回実施。当施設 ではないが、実際にあつ た事例を通して、虐待を しないですむ学習を行っ ている
	㉖	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、放課 後等デイサービス計画に記載している	○			身体拘束の同意 書を頂いている 方は全員ではな いが、身体拘束 の必要性が生じ るお子様の保護 者には説明をし て、きちんと同意 を得ている	身体拘束の3要件を見直 し、身体拘束をしない ですむ取り組みを考 えて、今後も支援を行 っていく
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	○			食事・おやつ提 供時は成分表等 を見て、気をつ けている	子どもの支援ファイルに 入れて置き、いつでも確 認出来るようにしている

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			<p>事例集はあり、共有も出来ているが、作成する人が限定的になっているため、より多くの職員が作成出来るようになるといい。</p> <p>また子ども側のヒヤリだけでなく、職員側のヒヤリも記載が必要なので、今後行っていきたい</p>	<p>ヒヤリハットが起きないように最善を尽くすとともに、起きた場合は、次に同じ事を繰り返さないように、職員で話し合うようにする</p>

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。